



雄武町

No. 173 令和3年2月号

議会だより

Contents

- ▶令和2年12月定例会(行政報告) — P2-3
- ▶一般質問(4名) — P4-7
- ▶審議結果(11月臨時会) — P8
- ▶審議結果(12月定例会) — P9
- ▶令和2年度補正予算 — P10
- ▶町内・道内視察レポート — P11-13
- ▶議会日誌・編集あとがき — P14

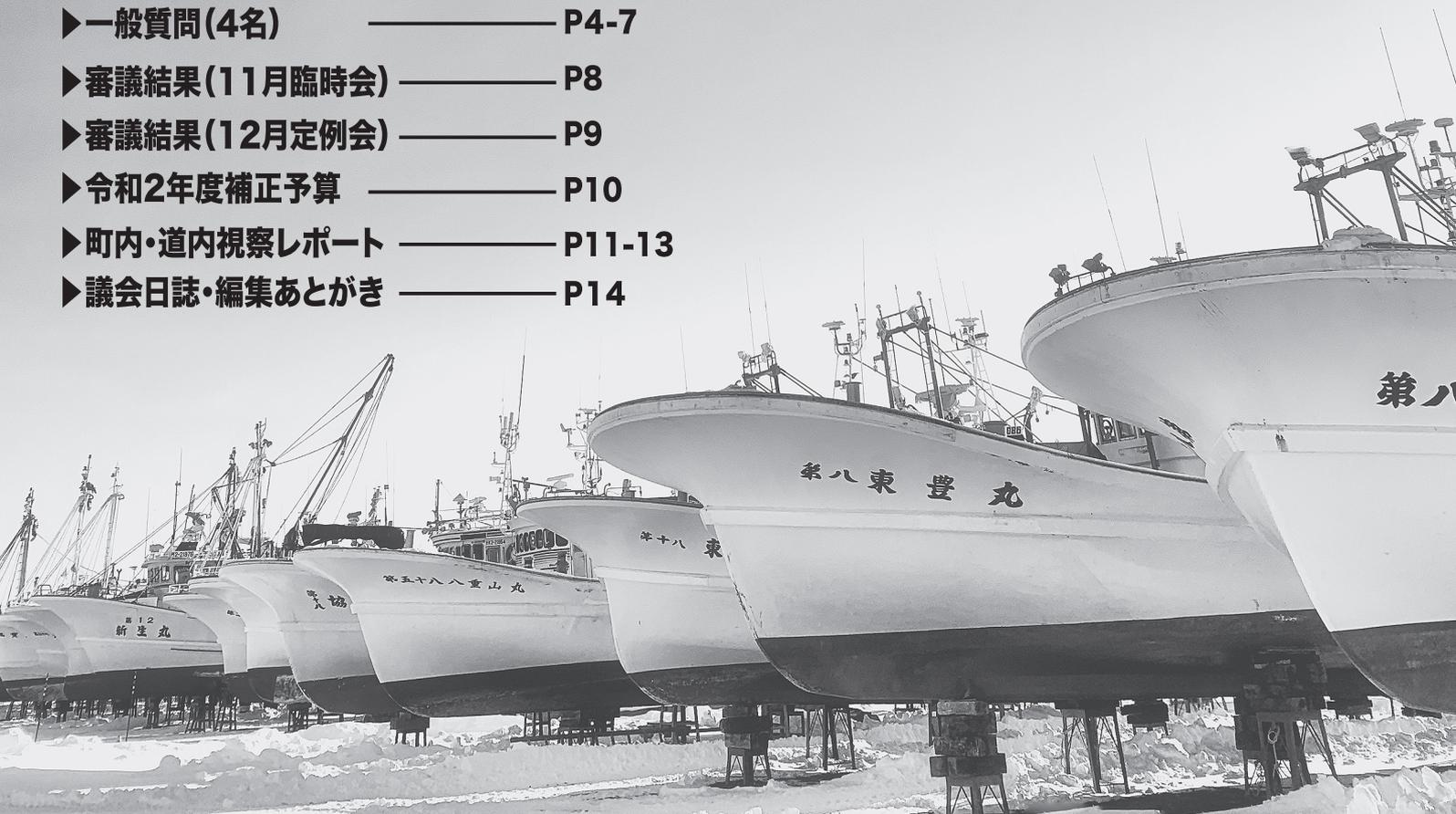


写真:海明けを静かに待つ雄武の漁船群

令和2年12月 定例会

12月10~11日（2日間）の内容

- ・ 行政報告（町長）
- ・ 行政事務報告（副町長）
- ・ 教育行政報告（教育長）
- ・ 一般質問（4名）
- ・ 条例制定4件
- ・ 各会計補正予算8件
- ・ 条例改正3件
- ・ 指定管理者の指定3件



行政報告
石井町長

新年度予算編成

令和3年度予算編成においては平成30年度からスタートした第6期雄武町総合計画の政策目標を展開するため、人件費、交際費、繰出金等を除いた17億4830万円の一般財源を各課に枠配分しました。

懸案事項に関する要望

- オホーツク圏活性化期成会
- ▼地方交付税総額の安定的な確保 ほか34件
- 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会
- ▼新たな広域道路交通計画の早期策定、重要物流道路の更なる指定・重点整備 ほか3件

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 対策本部会議開催状況 計2回開催
- （令和2年11月16日、12月8日）

医師確保

- ・ 服部憲尚医師（非常勤） 11月末付け退職
 - ・ 平岡裕樹医師（常勤） 3月から着任予定
- 高齢化が進展する中におきまして、常勤の内科医が着任されることは、町民を初めとして、誰もが待ち望んでいたところであり、我が町の医療サービスの向上に大きく寄与するとともに、安定した病院経営にも資するものと大きく期待を寄せるところでございます。

行政事務報告に対する質疑応答

特別養護老人ホーム・老健施設にかかる新型コロナウイルス感染症対策について

Q コロナ禍でのショートステイ利用が伸びていると聞きますが、ベッド数の状況は。

A 保健福祉課長 ショートステイは11床ありますが、今のところは大きな落ち幅も増もない。外部からの感染を防ぐため、頻繁な出入りを行わないなどの調整をしている。

Q 新型コロナウイルス患者が発生した場合の、雄愛園・老健ハマナスの対応は。

A 保健福祉課長 国による対応マニュアルや雄愛園独自のマニュアルに基づいて対応を行う。紋別保健所にも他のクラスター対応を行ったノウハウがあるため、そういった情報を基に適切に対応していく。

A 老健事務長 老健ハマナスも基本的に保健所の指示に従う。まず罹患者の隔離は必要となる。

行政評価（単位施策評価）について

Q D判定1件の内容は。（政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要。政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要）

A 財務企画課長 男女共同参画に係るもの。特

単位施策…総合計画は「政策」「施策」及び最小の活動単位である「事務事業」という3層構造です。事務事業を実施する上での目的となるのが「単位施策」です。



に施策を構成する事務事業もなく、町の委員会や審議会の女性参画率も低いことからそのような判定になった。今後も理念の浸透とともに意識啓発を行っていく。



国保病院の医師確保対策について

Q 服部医師が退職されたが、直接お会いして今までのねぎらいの言葉をお伝えしたのか。新たに着任される平岡医師が来るまでの3か月間、安定した医療提供をどのように行っていくのか。

A 町長 服部医師については2～3月退職予定だったが、急きょ電話連絡にて11月に退職となった。服部医師には会えていないため、ねぎらいの言葉等もかけていない。

A 病院事務長 8月から内科診療に来られている山本医師から、1月までカバーしてくれるとの発言をいただいている。2月については地域医療振興財団の医師の紹介を受けて対応する予定。

Q 選挙公約に医師2名体制というのがあったが、それで達成したという考えか。12月の全員協議会で服部医師の件が説明されたが、その発言は副町長からではなく町長から聞いたか。と苦言を呈した。8年も内科医を務められた服部医師に対する感謝の念の報告がない。どうしても優しさがなく、人間関係の構築の仕方に疑念を感じる。町長が当選されてからの間、桂巻院長を含めた医師とどれだけの意思疎通を図ったのか。

A 町長 2名で医療がどうなのかという話だ

が、将来は3名体制で行きたい。急に何かあるとまた1人体制になってしまうので、これからもまた考えていきたい。服部医師とは町長になってから一度会い、今後の医療に対するお願いをした。お辞めになる前に服部医師との面談を予定していたが、急きょ来られなくなったので残念に思っている。

Q 町長の答弁は、ずれている。今、聞いたのは選挙公約を達成したと捉えるのかという内容。的確に答えてほしい。病院の医師との意思疎通の話も答えていない。必要なのは人間関係であり、服部医師に「長年お世話になり、感謝しています」という言葉がない。町民にどう聞こえるのかということも含めてもう一度答弁を。

A 町長 公約は達成したと思っている。ただ達成したからそれでいいという事ではなく、今後の経営もあるのでそういうことを進めていく。私は言葉に出さなくてもそういう部分では非常に感謝している。服部医師との引き継ぎの部分についてもきちっとやっていただく。病院へは月1回程度顔を出し、事務長と相談を行っている。

Q 新しい医師と院内との人間関係、町との人間関係をしっかり構築していただきたい。長く居ていただくことが第一だと考える。(答弁不要)

子育て関連事業について

Q 子育て用品配布事業実施要綱の具体的な内容は。

A 保健福祉課長 妊婦におしりふき、ウェットティッシュなどの育児関連消耗品を1人あたりおおむね4000円分を支給するもの。訪問等による相談支援の機会を設け、不安や悩みに対するアドバイスを行うもの。

Q 子育て応援券の利用は商工会加入店のみであるが、コンビニ等で利用できるよう範囲を広げてみては。

A 保健福祉課長 お得だよ商品券と時期が重なったことから、混乱を生じないように、子育て応援券もお得だよ商品券と同様の扱いとした。今後も経済対策が続くと思われるので、その際の検討材料としたい。



中山間地域等直接支払交付金の利用について

Q 中山間地域等直接支払制度を利用して全国で色んな活動がされている。離農農家の廃屋をこの共同活動費を使って整理する町村がある。農業団体と相談して活動資金をそちらに充当してはどうか。

A 産業振興課長 事務局が農協になっていることから、農協事務局に提案があったことを伝える。

雄武中学校3年生の進路について

Q 雄武中学校3年生の進路はどうなっているか。現況を知りたい。

A 教育長 11月末現在、3年生32名のうち、雄武高校への進学希望18名、紋別高校9名、その他進学4名、就職1名予定となっている。



12月定例会

高速医療バス運行、調査検討を早急に

町長

時間をかけて実施、来年度アンケート調査を行う

高速医療バスの運行にかかるアンケート調査について

とした中で実施したいという考えには変わりはない。医療バス運行に当たっても情勢が変化していることから、時間をかけて実施したい。コロナ禍の中で業務を進めるうえでも大きく影響を及ぼしているアンケート調査は、ローリングで来年度に変更した。町民の要望もあり、その結果を踏まえ、

調査内容は来年度アンケート実施時に内部で検討したい。組織において「ホウレンソウ」は大切なことです。職員は指示されたこと以外にも、町民に何をすべきかを考え、それを上司に報告、連絡、相談する。課長は聞く耳を持って話し合い、職員を自分以上の人材に育てる気持ちで接し、町長は課長等とよくコミュニケーションをとって行政を執行していただきたい。

選挙管理委員会事務局長

事前宣言書に記入し投票所に持参する方法は効果的です。選挙人の利便性やスムーズな投票の実施、期日前投票の混雑の回避、選挙事務の効率化の観点から、

コロナ禍に関わらず改善が必要と選挙管理委員会では考えており、今後実施される選挙において最適な方法を実施し、投票率の向上にもつなげていきたい。



金田 壽夫 議員

町長は昨年12月の定例会において、二次医療、観光の町づくり、人口減少対策として、高速医療バスの運行に向けての町民アンケートを令和2年度に実施すると約束されましたが、新型コロナウイルス感染症のため先送りされると聞きました。総合計画前期実施計画の遠隔地通院支援事業として、令和3年度にアンケート調査実施が盛り込まれていますが、しかし、アンケート調査にコロナ禍の影響は関係ありません。行政は町民の要望を早く捉え、それを基に任期中にどう実現していくかの調査検討を早急に行うべきではありませんか。

町長

選挙公約で最優先

町民の要望を早く捉え、それを糧として実行していただきたい。町長も忙しいと思うが、調査内容について課長等に「報告（ホウ）、連絡（レン）、相談（ソウ）」を行っていますか。

町長

担当課長とも相談しながら今年度中に実施したかったが、現在はコロナ業務中心となっている。調

期日前投票の簡素化について

毎年のように何かしら選挙があるが、投票率の低下が進んでいます。特に期日前投票では、投票所に行つてからの手続きが「面倒、厄介、視線を感じる、緊張する」などの町民の声



12月定例会

新型コロナウイルス感染症に対する町の対応について

問 新型コロナウイルス感染症が全国的に広がりを見せ、特に医療機関が深刻な状況になっています。旭川の吉田病院、旭川厚生病院ではクラスターが発生し、医療機関への感染の広がりをどう抑え込むかが大きな課題です。そんな中、美幌町と津別町、大空町の医療機関が合同で感染が疑われる人に対して、車から降りないで受けることができるドライブスルー方式のPCR検査センターを開設したとの報道がありました。オホーツク管内では北見に続いて2か所目で、遠紋管内には公的にはPCR検査を受けたくても受けられない状況ですが、町の考え方は。

保健福祉課長 美幌町の

PCR検査センターは都道府県等が医師会等に運営委託をしたもので、オホーツク管内で2か所目のPCR検査センターです。都道府県等が運営委託を行うものであり、市町村独自で立ち上げる施設ではありません。

問 新型コロナウイルスに関して、12月に国保病院からお願いのチラシが配布されました。カゼ症状により受診を希望される場合は事前に電話をしてから受診してもらうシステムを説明したものです。町としても感染拡大を防ぐ方向を打ち出す必要があるのではありませんか。

病院事務長 12月の折り込みチラシは全道的に周知されている内容であり、新型コロナウイルスの疑いがある患者を広域紋別病院に誘導、案内することを目的として配布しました。ホームページ

を活用した周知や、発熱患者用の待機スペースの確保などを行い、夜間や時間外については町内関係機関と協議し体制を整えているところ です。

町長 町民への周知という点では、なかなか難しいとは思っています。包括支援センターや保健福祉課などに問い合わせもあると思うので、その中で対応していきたいと思っています。

核のゴミ処分場選定について

問 寿都町と神恵内村で核のごみ処分場選定、文献調査の問題が大きなニュースになっています。北海道議会では特定放射性廃棄物に関する条例が何年も前に制定され、北海道を核のゴミ捨て場にしないとの思いは道民の総意として認知され

ていると思います。NUMO(ニューモ・原子力発電環境整備機構)によると、活断層のないオホーツク海岸は、雄武町も含めて適任地と考えられています。以前の議会で町長は核のゴミ処分場については一切考えていない旨を明らかにしました。こうした情勢の中で「核抜き条例」の制定を本気で検討してみる必要があると思いますが、考えを伺います。

町長 高レベル放射性廃棄物の持ち込みに関する条例制定の動向については、認知しているところです。以前の議会でも明らかにしたとおり、道の条例を遵守しながら進めていきたいという考えに変わりはありませんが、雄武町の条例化については周辺自治体の動向を見極めながら、適切に判断していきます。

「核抜き条例」制定、本気で検討しては

町長

道の条例を遵守、周辺自治体の動向を見極める



福原 峯雄 議員



12月定例会

「コミュニティ・スクールの意義と期待する効果についての認識は

教育長

コミュニティ・スクールづくりを通して、この国やこの町の明日を担う明るくたくましい子供達を育ていく流れを浸透させていく

コミュニティ・スクールの設置について

問 コミュニティ・スクールの意義と期待する効果についての認識は。

教育長

コミュニティ・スクールの委員は自治体から任命される特別職公務員となり、一定の権限を持って学校運営に関わり、その責任はとても重たい。始まったばかりの制度なので、効果は未知数だが、コミュニティ・スクールづくりを通じて、地域の人にとっての「おらが学校」として、明るくたくましい子供達を育てていきたい。

各学校におけるICTの活用について

問 雄武高校を含め町内の学校の生徒一人ひとりに教育用コンピューターが行き

渡るが、利用目的等はどうなっているか。

教育振興課長

整備目的は学習指導要領に基づくプログラミング教育等授業への活用。文科省のGIGAスクール構想では、教材や文具のひとつとして通常の授業で使えるよう一人一台を配備する。高校のタブレット端末は高校からの要望を受け、町が生徒に貸与する形となり、運用は雄武高校の協力を得て進める予定。

小中学校児童生徒検定チャレンジ促進事業について

問 チャレンジ促進事業の達成率及び効果の教育委員会としての評価は。

教育振興課長

5、6年前と比較すると、人数が大幅に増加傾向にあるが、教育委員会の目標値にはまだ

達成してないので今後の取り組みを推進していく。小学校でも学校ぐるみの取り組みが進み、漢検の合格者も増えているので一定の成果があると認識している。

児童生徒の学力向上について

問 雄武高校存続のための物質的・金銭的な支援の他、生徒の学力向上への施策は。雄武高校を魅力ある学校に変えていくための町長の考えは。

町長

コミュニティ・スクールで地域が関わっていくことが非常に大切。高校にも広めていき地域で子供達を育てていくことが必要である。勉強だけではなく心の教育も含めて取り組んでいく。

問 議員時代はもっと熱のこもったものだったが、公



佐藤 寧 議員

設塾など含め心変わりがあったのか。

町長

できれば小中高での学習塾（公設塾）という部分はある。サマースクールを含め子供たちと触れ合い、教育はただ勉強するだけでなく、それ以外にもあるということをつくづく感じただため、若干考え方が変わった。

「北海道立北の森づくり専門学院」のPRについて

問 進路選択を考える中高校生を対象に、森林環境譲与税を使い学院をアピールしていく計画は。

産業振興課長

森林環境譲与税活用事業はもうすぐ制定に至るが、残念ながら専門学院のPR等に使つことはメニューには入っていない。



12月定例会

技能実習生を含めた 外国人住民との共生に ついて

問 技能実習生を含む外国人住民との共生について伺います。まず雄武町の外国人住民登録の現状について伺います。

住民生活課長 本年10月1日現在で257人、雄武町住民の6%に相当します。

問 町として今まで外国人住民との交流事業を実施したことはありませんか。

産業振興課長 町が中心に実施した事業はありません。

問 交流事業を含め、住宅環境等外国人居住者に対する施策を講ずる時期と考えるが。

町長 空き家対策の中で住環境の整備を進めていきたい。

問 10月から11月にかけて3日間、北海道主催の日本語学習支援者養成講座が町内で開かれ、雄武町から10人の受講者があり、関心が高いと感じました。ぜひ受講者を核に、日本語教室を開設できるよう取り組んでほしい。

町長 できれば受講者10人の方にコーディネーターになってもらい、取り組んでいけたらと思います。

問 図書館に日本語学習の図書を整備が必要と考えるが。

教育長 中国語、ベトナム語のニーズに沿った図書をそろえたい。図書館で検討中です。少し時間を頂きたいと思います。

雄武町中心市街地の 活性化策について

問 雄武町の中心街の活性化

化について伺います。中心スーパーの活気が失われてきて商品価値も含め住民の信頼が薄れてきているように感じられます。交流センターも道の駅となっているが、地元物産の販売も弱く、観光協会も2階に事務所というところで、町外からの観光客にとって非常に不親切な施設になっています。他方、物産販売の海鮮丸、海宝は離れた場所で営業している現状で、総合的な中心街の活性化対策はないものが常日頃感じているのですが、町長はどんな認識をお持ちですか。

町長 現在の道の駅、エーコープ、観光協会はアンパランスで課題があると思っています。エーコープの現状も組合長から伺いながら前へ進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症 再拡大に伴う町内飲食 業者への影響について

問 本年度の新型コロナウイルス感染症の影響で、未執行となる予算はどのくらいになるか。

財務企画課長 約5千万円が未執行になる見込みです。

問 11月以降、コロナ感染が急拡大し、忘年会等の会食がほとんど中止となり、町内飲食業者に大きな影響が出ているようですが、町としてどの程度把握しておりますか。

産業振興課長 先週、商工会へ町内飲食業者への調査を依頼し、現状を把握させていただいております。

外国人居住者に対する施策を講じては

町長

空き家対策の中で住環境の整備を進めていきたい。



嶋村義文 議員



議 果

審 結

11月臨時会

条 例 改 正

●職員給与に関する条例の一部改正

人事院の給与改定の勧告に準拠するもの。

●特別職の職員給与に関する条例の一部改正

特別職の期末手当について、人事院勧告による一般職員の引下げに準拠するもの。

●議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議員の期末手当について、人事院勧告による一般職員の引下げに伴う特別職の引下げに準拠するもの。

(以上、原案可決)

令和2年度

補 正 予 算

一般会計（第7号）専決処分報告

65億3934万円（345万円追加）

【主な内容】

◇民生費 345万円増（高齢者等冬の生活支援助成の増）

一般会計（第8号）

65億669万9千円（3264万1千円減額）

【主な内容】※一部抜粋

◇総務費 2686万5千円減（一般職期末勤勉手当の減ほか）

◇衛生費 680万3千円減（簡易水道事業特別会計繰出金の減ほか）

簡易水道事業特別会計（第1号）

3億8093万7千円（679万5千円減額）

【主な内容】職員給与の減ほか

公共下水道事業特別会計（第1号）

8億3706万6千円（12万5千円追加）

【主な内容】一般職時間外勤務手当の増ほか

介護保険事業特別会計（第3号）

4億8934万4千円（97万5千円減額）

【主な内容】職員給与の減ほか

介護老人保健施設事業特別会計（第1号）

1億4105万4千円（32万円減額）

【主な内容】職員給与の減ほか

国民健康保険病院事業会計（第2号）

《収益的支出》7億984万9千円（10万9千円追加）

【主な内容】新型コロナウイルス感染症対策消耗備品

《資本的支出》8650万8千円（315万円追加）

【主な内容】新型コロナウイルス感染症対策備品購入

補正予算に対する質疑応答

雄武高校・生徒学習用端末について

Q 学習用端末 750万円が「負担金、補助及び交付金」から「備品購入費」に変更されたが、その理由は。

A 教育振興課長 高校側から要望があり、道教委との協議の中で「町が購入して貸与する」こととなったため。

Q 高校は学習用端末を資産として持つべきではないということか。

A 教育長 当初は学習用端末を高校側で管理する予定だったが、高校側で持つことはできなくなり、最終的には生徒への貸与ということに

なった。

職員手当の減額について

Q 「職員手当等」はほとんどの科目で減額となっている中、保育所費（21万円増）と図書館費（2万円増）だけが増額となった理由は。

A 総務課長 保育所費については、病気休暇による欠員補充のため会計年度任用職員を増やしたもの。

A 教育振興課長 図書館費については、会計年度任用職員の採用月による手当額の関係によるもの。



議 果

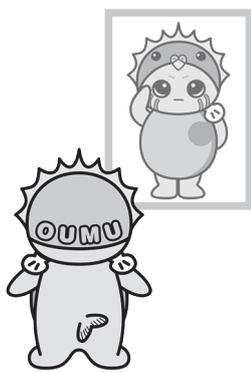
審 結

12月定例会

条 例 制 定

●空家等対策協議会条例の制定
空家等に関する対策の実施に必要な措置を講ずるため、空家等対策の推進に関する特別措置法に定める協議会を設置するもの。

●雄武町議会議員及び雄武町長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定
公職選挙法の規定に基づき、雄武町議会議員及び雄武町長の選挙におけるポスター掲示場を設置するにあたり必要な事項を定めるもの。



●雄武町議会議員及び雄武町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定
公職選挙法の一部改正により、選挙運動費用の公費負担を可能とする範囲が拡大されたことを受け、選挙における立候補者の環境改善のため、条例の制定が必要となったもの。

●合葬墓条例の制定
合葬墓の整備に伴うもの。
(以上、原案可決)

条 例 改 正

●国民健康保険税条例の一部改正
地方税法施行令の一部を改正する政令等が施行されたことに伴うもの。

●後期高齢者医療に関する条例の一部改正
地方税法等の一部を改正する法律による延滞税の割合の特例に準じ、延滞金の割合の特例を定めるため。

●快適住まいづくり促進条例の一部改正
令和3年3月31日までを期

限とする快適住まいづくり促進条例について、引き続き町民が安心して快適に暮らすための住宅の整備を促進するため、その期限を令和8年3月31日までとした。
(以上、原案可決)

公の施設に係る指定管理者の指定

●オホーツク温泉
ホテル日の出岬
指定管理者

雄武町観光開発㈱
代表取締役 石井友藏
期間 令和3年4月1日
～令和8年3月31日

●特別養護老人ホーム
雄愛園

●在宅老人デイ・サービスセンター
指定管理者
社会福祉法人
雄武町社会福祉協議会
会長 中島克弥
期間
令和3年4月1日
～令和6年3月31日
(以上、原案可決)

補正予算に対する 質 疑 応 答

ホテル日の出岬の指定管理について

Q観光開発の代表取締役はなぜ町長なのか。過去の経緯では副町長が歴任しており、不在がちな町長が片手間で第三セクターの社長を務めることに疑問がある。平時であれば町長は不在にすることも多く、社長が不在ではタイムリーな相談もできない。代表取締役には在庁時間も多し副町長が適任ではないか。

A町長 代表取締役は取締役会の中で決定されている。ホテルを少しでも改善したいという思いを途中のままで、副町長に引き継ぐのは受ける側も大変である。任期中であっても、ある程度混乱が落ちついて、道筋をつけた段階で渡していきたい。その判断は取締役会で決めることである。

Q町長の発言は副町長を信用していないのと同じ。町長はスーパーマンではないのだから、全

部はできない。自分がやらなくていいものは任せるというのを考えていったほうがいいのではないか。(答弁不要)

Q代表取締役は副町長が歴任している、という事実を捻じ曲げてまで続けることが理解できない。国保病院の再生など、町長にしかできない課題が山積している以上、そちらに専念していただきたい。(答弁不要)

空家等対策協議会条例について

Q適切な管理がなされていない空家への対策条例ができて嬉しい。協議会を立ち上げた後、どのような計画を作るのか。

A建設水道課長 条例が可決された後、年度内に2回ほど協議会を開催する予定。計画については国から出ているひな型を利用して作成する。



補正予算

一般会計（第9号）

65億4797万2千円（4127万3千円追加）

【主な内容】

- ◇総務費 1944万7千円増（生活交通路線維持補助金の増ほか）
- ◇民生費 552万5千円増（特定教育・保育施設給付事業給付金の増ほか）
- ◇衛生費 1億133万5千円増（国民健康保険病院事業会計繰出金の増ほか）
- ◇農林水産業費 453万4千円増（雇用維持・経営持続化対策補助金の増ほか）
- ◇土木費 9616万8千円減（元沢木海岸線道路整備工事の減ほか）
- ◇教育費 600万円増（図書館ロールスクリーン設置工事の増ほか）

一般会計（第10号）

65億5797万2千円（1000万円追加）

【主な内容】

- ◇商工費 1000万円増（新型コロナウイルス感染症対策経営緊急支援補助金の増）

国民健康保険事業特別会計（第3号）

7億680万5千円（225万1千円追加）

【主な内容】保険給付費等交付金（普通交付金）返還金の増ほか

公共下水道事業特別会計（第2号）

8億7274万4千円（3567万8千円追加）

【主な内容】公共下水道整備工事（繰越明許分）の増ほか ※繰越明許…前年度からの繰り越し

介護保険事業特別会計（第4号）

5億2729万5千円（3795万1千円追加）

【主な内容】施設介護サービス給付費の増ほか

後期高齢者医療事業特別会計（第1号）

7374万5千円（81万1千円追加）

【主な内容】総合行政システム改修委託料の増ほか

介護老人保健施設事業特別会計（第2号）

1億4264万8千円（159万4千円追加）

【主な内容】感染症対策機器等購入の増ほか

国民健康保険病院事業会計（第3号）

一般会計から運営補助金として4億5千万円を追加補正した。

補正予算に対する質疑応答

国保病院への支援について

Q衛生費から国保病院へ1億円が投入されたが町としてどの程度の支援が可能か。

A町長 コロナの関係で患者数が減少している状況。運営については院長や事務長と協議を行っていく。

Q今年度で5億円以上の支援が見込まれているが、いくらまでなら支出する考えか。

A町長 際限無くというのではなく、創意工夫しながら病院経営に当たっていく。

図書館のロールスクリーンについて

Q教育費、図書館ロールスクリーン設置工事600万円増とある。設計段階で西日の想定をしていなかったのか。

A教育振興課長 季節や時間帯によって西日が

入る。景観に配慮した設計。設計段階で西日の検討はされたが、費用面等の問題もあり、開館後に状況を見ることになっていた。

元沢木海岸線道路整備工事について

Q工事の減額は既に2回目、前もって国との計画はあったのか。

A建設水道課長 平成29年度に事務が年度内に処理できず取り下げた経緯がある。今年度については財務局からの応答が遅れたことから、年度内処理の見通しが立たなくなった。本年度予算を減額し、来年度の実施に向け事務処理を進めている。今年1月に利用計画書を提出、4月中旬に用地の売買契約、5月下旬には所有権移転を完了する予定。

令和2年8月18~20日

町内・道内視察レポート

雄武町

図書館、廃棄物処理施設

西興部村

バイオガスプラント

総務文教常任委員会町内視察

▼日程 令和2年8月18日(火)
▼視察項目 関係施設の視察(雄武町図書館「雄図びあ」)

令和2年度において総務文教常任委員会では、産業厚生常任委員会と合同で、町内関係施設の視察を実施したところです。

「雄武町図書館「雄図びあ」

令和元年8月に新築移転した雄武町図書館「雄図びあ」については、北海道産木材の使用、絵画展示コーナー・郷土資料展示コーナーの併設、施設内レイアウト、本年10月1日から国立国会図書館デジタル化資料送信サービススタートさせるなど、管内及び全道における先進図書館と肩を並べる素晴らしい図書館である。

▼施設及び機能概要

- 駐車場20台(一般用16台、障がい者用4台)
- 収納冊数 開架約44、300冊、閉架約17、900冊、計62、200冊
- 開架閲覧室(一般図書・児童)



- 童図書・地域資料)
- 絵画展示コーナー(小田切画伯ギャラリー)
- 郷土資料展示コーナー
- 展示コーナー(町民の作品等)
- 談話コーナー
- おはなしのへや(隣に授乳室並びに子ども用トイレを設置)

- 多目的室(14机30脚、プロジェクター付)
 - 視聴覚コーナー(DVD視聴ブース3席)
 - グループ学習室(2部屋、2机8脚)
 - 屋外テラス(4机16脚)
- ◎視察所感
- 平成23年度に行われたアンケート調査、24年度及び25年度に行われた「雄武町図書館を考える会」での検討・答申に基づいたコンセプトで令和元年8月にオープンした「雄図びあ」は、素晴らしい設備や機能を持つ図書館である。利用者数はオープン当初に比べると減少傾向にあるが、言い方を変えれば安定した図書館運営が行われていると考えられ、図書館司書や教育委員会には更なる利用者増・使いやすい図書館を目指した奮闘を期待します。
- 一方、貸し出し図書の数にこだわるのではなく、「雄図びあ」の大切なコンセプトである「町民の誰もが気軽に立ち寄ることができる、居場所のある空間」になればと願っています。



「雄武町図書館を考える会」のアドバイザーを務めていただいた現慶應義塾大学文学部名誉教授である糸賀雅児氏の講演の中に「図書館で育つ地域の人材、まちのために考えるのが図書館」、「図書館を通じて本を読み、そして物事を考え、文字で考えることにより論理的な思考力、集中力、読解力が育まれる」とありました。文化を構築するうえで、幼い頃から本に親しむために、家庭での読み聞かせ(家読)の推進やボランティアの育成が求められていると強く感じたとところです。

産業厚生常任委員会町内視察

▼日 程 令和2年8月18日(火)
 ▼視察項目 関係施設の視察（廃棄物焼却処理場及び廃棄物最終処分場）

令和2年度において産業厚生常任委員会では、総務文教常任委員会と合同で、町内関係施設の視察を実施したところです。

【廃棄物焼却処理場及び廃棄物最終処分場】

ダイオキシン発生により焼却処理が休止して以降、議会としても、機会あるごとに焼却処理の再開等による最終処分場の延命化について意見を付してきた経緯があり、廃棄物処理の現状を把握するために視察を行ったところです。

▼廃棄物焼却処理場

□所在 雄武町字中雄武323番地の1

□敷地面積 1,596.82㎡

□炉型 機械化バッチ焼却式焼却炉

□処理能力 10t/日(8H)

□事業費 3億5,645万円



□焼却開始 平成元年4月

(平成14年10月焼却休止)

※現在は、生ごみ処理及び資源ごみの回収・保管拠点として稼働している。

▼廃棄物最終処分場

□所在 雄武町字道有林3番地の1

□敷地面積 66,124㎡

□埋立面積 24,600㎡
 □埋立容量 83,744m³
 □事業費 2億8,683万円
 □埋立開始 昭和60年10月

◎視察所感

生ごみの分別は平成17年から開始され、各地区とも水曜日以外の週2日回収されている。回収された生ごみは袋に入ったまま処理設備に投入され、ペーパースト状に破砕される生ごみと袋が自動的に選別される仕組みとなっている。現在は興部町の牧場に運ばれているが、明年度からアグリファームのコンポスト処理施設への搬入が検討されている。生ごみに紙ごみ等の異物が混入している場合、設備内で詰まってしまう手作業で除去せざるを得なく、処理の支障になることから分別の徹底が求められるとのことである。

資源ごみについては、雑誌・新聞紙類は町内業者を通じ旭川市の処理業者へ、ペットボトルは名寄市の処理業者へそれぞれ運ばれている。瓶やプラスチックごみは紋別市のリ



サイクルセンターで処理されている。廃木材・鉄くずもそれぞれ処理業者に引き渡され適正に処理されている。

最終処分場の現況は、埋立容量83,744m³に対し、41,000m³程度埋め立てられており、昭和60年10月の埋立開始から35年が経過している。今秋には再度測量を行い、埋立可能残余容量・年数を調査することであるが、最終処分場のさらなる延命化対策として、燃やせないごみ及びプラスチックごみの分別精度を向上させ、埋立量を抑えるための町民周知及び注意喚起の徹底、雑紙類を埋め立てることなく分別収集しミックスペーパーとしてのリサイクル、小型焼却炉整備の可否等について検討された。

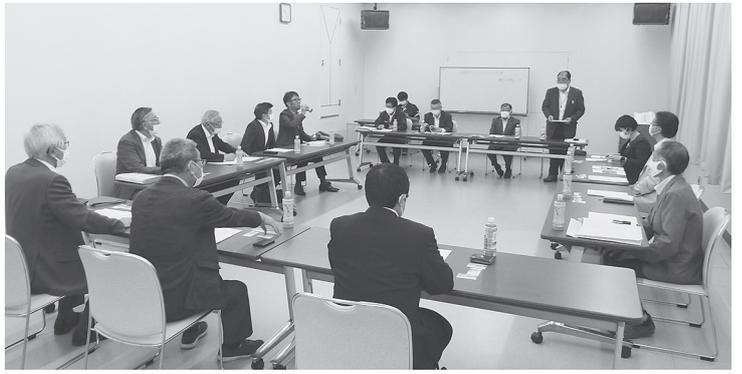
産業厚生常任委員会道内視察

▼日 程 令和2年8月20日(木)
 ▼視察項目 西興部村「バイオガスプラントについて」

オホーツク管内西興部村 森田議長、吉水産業常任委員会で、

委員委員長、小崎産業建設課長に対応していただき、当町においても整備検討がされていることから、西興部村バイオガスプラントについて視

察しましたので報告いたします。至るまでの経緯 西興部村バイオガスプラントは、昨年3月から堆肥等の受け入れを開始し、10月から



▼事業計画・概要について

□乳牛糞尿を原料とし、経産牛糞尿を優先的に投入する。

□処理後にできる消化液は、参加農家に無償で提供する。

□再生敷料は農家に販売する。

□バイオガスはバイオガス発電会社へ販売する。

□バイオガス発電会社が売電事業を実施する。

□車両整備や関連施設を除く整備費は738,200千円

□収入は年78,790千円

・糞尿処理費（農家から年1頭につき10千円）

・バイオガス販売

・消化液販売（参加農家に無償提供）

・再生敷料販売

□支出は年53,000千円

・プラント維持管理費

・原料輸送費
・プラント管理人員費（糞尿の回収と消化液の運搬、プラント運転管理）
□収支は、年26,790千円のプラス

▼今後の運営計画

□10年後には現在の年間27,959tから28,700tの乳牛糞尿を調達する計画である。

□将来的には、バイオガス発電による暖房での温室の稼働も考えている。

□消化液の散布により、農地・牧草の生産効率を上げる。

□再生敷料の利用で経費の負担を軽減する。



◎視察所感

このバイオガスプラント事業計画は、村内全16戸中、放牧農家以外の15戸の農家が希望した計画であり、村と農家の共通認識のもと進められたものである。

消化液の効果的な利用の推進と、プラント整備以前から再生敷料を購入利用していた農家に対して、このプラントから出る敷料を利用することにより入手に係る労力・経費の負担の軽減を図ることができており、村と農家の信頼関係が構築されていると強く感じたところである。

◎各常任委員会の委員及び所管事項について

▼総務文教常任委員会

委員長 溝田昌志
副委員長 佐藤寧
委員 嶋村義文、遠藤友宇子、金田壽夫、柳原浩之

《所管事項》総務課、財務企画課、税財管理課、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、国民健康保険病院・介護

老人保健施設に関する事項、監査委員所管に関する事項及び産業厚生常任委員会に属さない事項。

▼産業厚生常任委員会

委員長 福原峯雄
副委員長 遠藤友宇子
委員 長野誠、嶋村義文、金田壽夫、柳原浩之

《所管事項》住民生活課、保健福祉課、地域包括支援センター、児童センター・保育所、産業振興課、建設水道課、特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに関する事項、農業委員会に関する事項。

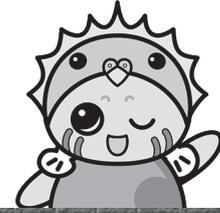
【令和2年】9月

議 会 日 誌

14~ 17日	第6回定例会
10月	
5日	第9回広報特別委員会開催
14日	第10回広報特別委員会開催
16日	第6回議会活性化調査特別委員会開催
22日	第11回広報特別委員会開催
23日	全員協議会開催
29~ 30日	オホーツク圏活性化期成会秋季北海道要望（札幌市）出席、議長 北海道議会議員（管内選出議員）との意見交換会（札幌市）出席、議長
30日	第7回議会活性化調査特別委員会開催
31日	自由民主党北海道第12選挙区支部移動政調会（北見市）出席、議長
11月	
2日	オホーツク圏活性化期成会石北本線部会（北見市）出席、議長
3日	雄武町栄典表彰式出席、議長ほか8名
11日	第12回広報特別委員会開催
12日	第8回議会活性化調査特別委員会開催
19日	第9回議会活性化調査特別委員会開催 議会運営委員会開催
27日	第7回臨時会

12月

1日	全員協議会開催
3日	第10回議会活性化調査特別委員会開催 産業厚生常任委員会開催
4日	議会運営委員会開催



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か ？

◎定例会

3・6・9・12月 年4回

◎臨時会

適時開催

◎日程確認

新聞折込チラシ

議会事務局ホームページ

事務局に連絡

【雄武町議会事務局】

代表 Tel: 0158(84)-2121

編集あとがき

令和3年の新年を迎えましたが、みなさまお元気にお過ごしでしょうか。

昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によっていまだかつてない事態に直面し、刻々と変化する生活様式に各人がとまどいを感じながら過ごした一年だったのではないのでしょうか。

例年執り行われる成人式も今年は延期となりました。議会でも会議を行う際には、感染防止策に努めながら、打ち合わせを行っています。新年を迎え気持ちを新たに、多くの議員が町のみなさまの声をしっかりと伺う議会にしていきたいという気持ちを共通して持っております。

コロナ禍においても互いにアイデアを出し合って、町民のみなさまのご意見を町政に反映できるよう活動していきたいと考えております。

本年もみなさまにとり、明るく健康やかな一年になりますようお願い申し上げます。ともに未曾有の事態を乗り越えて参りましょう。本年も宜しくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員 遠藤 友宇子